

みなさんへ

## 田中アーカイブよりの重大なお願い

人間発達研究所の田中アーカイブ(故田中昌人・杉恵両氏の発達研究・発達保障論関係業績・資料保存プロジェクト)では、2006年から、2025年度末を目途に人間発達研究所の事業として故田中昌人・杉恵両氏の著作と両氏が所蔵しておられた資料・書籍・雑誌の整理に取り組んでいます。

人間発達論・発達保障論・発達診断論など多岐にわたる両氏の業績を批判的に継承するための素材を可能な限り網羅して、志ある方たちと共有できることをめざして取り組んできました。両氏の仕事を一世紀半におよぶ日本の近代教育と関連づけ俯瞰すると、教育など人間発達と深く関係する実践場面を再構成する上で不可欠の発達主体としての人間の理論的解明の扉をひらいた、という思いを強くします。実践は意図的計画的な営みです。その実践場面の主体に教師などが存在することは当然ですが、生徒は実践の単なる対象ではありません。そこに発達主体を見出すことで、実践場面を総合的包括的に把握可能です。もちろん田中以前にも多くの発達研究がありましたが、内発的な発達過程の質的転換に着目しながら胎生期から高齢期までの理論化を試みたことは、それが仮説的であるにせよ画期的でした。当然その理論化は実証的研究をもとにしていましたが、創造的な研究方法にも特徴があります。特に、発達の過程に障害のある人たちの姿の中から発達の基本概念を抽出したことは、特筆に値するものです。こうした両氏の研究の過程をたどるためには著作物のみでは完結できません。

現在、両氏所蔵の書籍雑誌類の整理が完了しました。また、簡単な説明をいれた著作目録も、1980年までは終了しました。現在、作業はメモ・手稿・ノートなど資料類の整理と1980年以降の著作目録の作成に取り組んでいます。これらは、必要な作業量が多くなっています。例えば、資料は一枚であってもファイル一点としてデジタル化します。また、できるだけ資料の意味を特定しようと心がけているので必要作業時間も膨大で、当初作業完了は2026年度末にとずれ込む見込です。

現在、田中アーカイブの作業をするため、作業室の賃貸料が必要です。加えて作業スタッフはボランティアですが、スタッフの交通費だけはお支払いをしており、年間約100万円は必要です。それらをすべてみなさんのご寄付でまかなっていますが、2024年3月末時点の残高は約160万円あまりで、作業完了までの資金が枯渇するという深刻な事態に直面しています。

これまでも累計で1000万円をこえるご寄付をみなさんからいただいてまいりました。そうした過去のご厚志を無駄にすることなく田中アーカイブが完了するために、以下の2つのお願いをさせて頂きたいと思います。

1. 物価上昇が続くなか、まことに心苦しいお願いですが、田中アーカイブへのご寄付（目標額200万円）へのご協力をお願いします（なお目標額にはアーカイブ作業終了後の残務整理のための費用も含む）。
2. アーカイブ作業スタッフを募集します。作業の内容から定期的な参加（例えば、週一回程度）をお願いできればと思います。

2024年6月20日

故田中昌人・杉恵両氏の発達研究・発達保障論関係業績・資料保存プロジェクト

プロジェクト責任者：中村隆一

寄付にご協力いただける場合、次の口座をご利用ください。

①郵便振替口座 01010-7-32709 加入者名 人間発達研究所

払込取扱票を同封させていただいていますが、ゆうちょダイレクトか、ゆうちょ通帳アプリをご利用いただくと、月5回まで振替料金が無料になります。

②銀行口座 滋賀銀行 大津駅前支店 普通 647901

名義 人間発達研究所 一般会計 西島悟司

なお、当研究所への寄付は、寄付金控除（所得税控除）の対象になりません。

何とぞ、ご了承ください。